

令和 6 年度 第 2 回恵庭市アイヌ施策推進委員会 議事録

場 所：恵庭市郷土資料館 研修室

日 時：令和 7 年 3 月 25 日（火）10:50～11:30

出席者：（委 員）内田委員長、白幡副委員長、藤原委員、早川委員

（事務局）教育部 山口次長

郷土資料館 高野館長、長町主査、杉浦主事

■開会

<事務局 高野館長> 議題までの議事進行・会議成立の報告

<山口次長> 開会の挨拶

<事務局 高野館長> 内田委員長に議事進行交代

■議題

(1) 令和 6 年度事業について

①令和 6 年度各事業の報告と検証について

<事務局>

会議資料 1～5 ページ、7～13 ページを説明。

<A 委員>

多くの方に来ていただけているようで大変ありがたい。

(2) 恵庭市アイヌ施策推進地域計画のKPI（重要業績評価指標）の達成状況の検証について

<事務局>

会議資料 6 ページを説明。

<A 委員>

KPI を大幅に超えた結果となり、大変良かったと思う。郷土資料館自体の来館者数も増えているようで、職員の努力の結果だと思う。

(3) 恵庭市アイヌ施策推進地域計画の軽微な変更について

<事務局>

会議資料 14～19 ページを説明。

<B 委員>

どこの博物館でもそうだが、KPI について参加者数や入館者数等人数に対する評価が多い。事業の内容についての評価も必要だと思う。

<事務局>

本事業の KPI については、内閣府とのやり取りの中で示されたものであるため、事業内容に関する項目は現状組み込まれていない。

人数という指標も必要な項目になる。今後の KPI 設定においては満足度のような指標も含めて最適な方法を検討していく必要がある。ただし、現在の地域計画のなかではこの KPI のままで進めたいと考えている。

(4) 令和 7 年度アイヌ政策推進交付金事業について

①アイヌ政策推進交付金事業計画

②アイヌ文化マスター育成事業について

③アイヌ文化学習見学会事業について

④アイヌ文化講演会事業について

⑤ムックリ製作体験事業について

<事務局>

会議資料 20～31 ページについて説明。

<C 委員>

沖縄の琉球文化とアイヌ文化の接触についても、再来年度にでも学ぶ機会があっても良いと思う。南北之塔にキムンウタリと書かれているとも聞いた。カムイノミも復活するという話もアイヌ民族文化財団で出ていたので、学ぶ良い機会ではないかと思う。

<A 委員>

沖縄も日本の文化の一つであり、北と南の文化という事でつながっていると思う。北前船で北海道の昆布が沖縄に運ばれており、沖縄料理にも利用されている。そういったこともあるので、学ぶ機会があっても良いと思う。

<事務局>

決められた枠の中で実施する必要があるため、すぐに変更はできないが、ご意見があった内容をふまえて今後検討していきたいと思う。

<A 委員>

今年は北方民族博物館へ行く予定という事で、とても良い博物館で、対応いただけると思う。

<B 委員>

北方民族博物館はアイヌ文化について俯瞰的に見ることができる良い博物館である。

(5) その他

<事務局>

令和 7 年度第 1 回目の委員会については、5 月末頃を予定している。

■閉会